

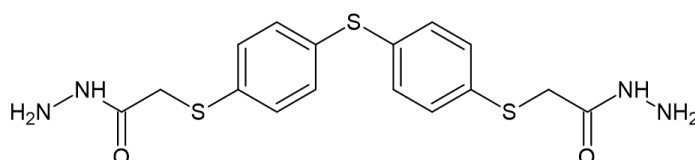
2025 年 8 月 20 日
日本材料技研株式会社

アシルヒドラゾン結合を有する樹脂に関する 三井化学とのライセンス契約の締結について

日本材料技研株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 浦田 興優、以下「当社」）は、このたび、三井化学株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 橋本 修、以下「三井化学」）と、アシルヒドラゾン結合を有する樹脂およびその主成分となるジヒドラジドモノマーに関するライセンス契約（以下「本契約」）を締結しました。

本契約の対象となる材料は、三井化学が独自に開発したアシルヒドラゾン結合を含むポリマー（以下「本ポリマー」）およびその主成分となるジヒドラジドモノマー（以下「本モノマー」）です。本ポリマーは、水素結合能を有するアシルヒドラゾン結合により樹脂の密度が高まり、高い屈折率を実現します。本モノマーの中でも硫黄を含有する構造のジヒドラジドモノマーは、ジアルデヒドモノマーとの縮合により、高屈折率、高耐熱、透明な樹脂となることが期待されます。当社では、本契約によって取得した独占的通常実施権を活用し、光学用樹脂材料メーカー等に対して本モノマーを供給することで、早期の事業化を図ってまいります。

＜本モノマーの一例＞



当社では、これまでにトリシクロデカン構造を有する VSTCD やピリダジン構造を有する APP など、高屈折率や耐熱性を有する光学樹脂原料の工業化に取り組んでいます。車載用途や情報通信用途、AR/VR 用途におけるセンサーやカメラ、通信モジュールなどの高機能化に向け、レンズや光導波路用途の樹脂に対する市場ニーズは急速に拡大・多様化しています。当社では、今後も革新的な光エレクトロニクス関連材料の製品化に対して積極的に取り組んでまいります。

当社は、国内企業や大学・研究機関等で開発された革新的技術について、ライセンスアウトやカーブアウトを通じた事業化に取り組んでまいりました。引き続き、未活用の革新的材料技術の商業化を進めることで、日本の素材産業におけるイノベーション創出に貢献してまいります。

以 上